

あおこうだより

鳥取県立青谷高等学校
令和3年6月7日
VOL. 14

地域にはばたけ!! 1年次生入学



なりすなちゃん

4月7日(水)入学式が行われ、1年次生58名が入学しました。期待と希望を持って、3年間の新しい生活がスタートしました。地域の方々と共に活動するたくさんのイベントを今からとても楽しみにしています。今後どうぞよろしくお願いいたします。



毎年、多くの卒業生が地域行事を体験し、それをきっかけに大きく成長しています。今年の1年次生も成長すると期待しています♪

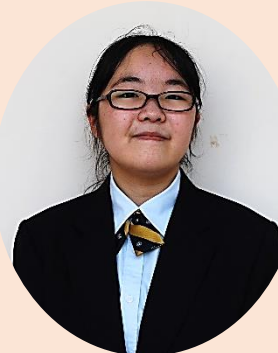
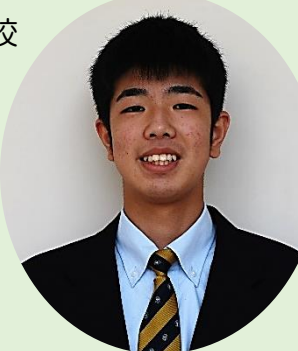


あおやくん



1年次生3人に青谷高校の印象と頑張りたいことを聞いてみました。

校舎からは海が見えるし、授業では中学校の復習から丁寧にするのでとてもわかりやすいいい環境だと思います。この環境なら部活のバレーと勉強を両立し、特に中学校で苦手だった数学を頑張れると思います!



優しい先生が多く、授業も取り組みやすいのでとても良い印象を持ちました。勉強はもちろん、美術部にも入っているので上手く両立して総合文化祭で良い成績を残すように頑張りたいです!

みんな仲が良く、少ない人数だけど楽しい学校だと思いました。私は、部活や勉強に頑張りたいと思います。いろいろな検定に挑戦したいです!



新科目紹介 Part1

弥生文化探究（3年次選択科目）

鳥取県には弥生時代の遺跡として全国的にも有名な青谷上寺地遺跡と妻木晩田遺跡があります。この2つの遺跡を生きた教材として、考古学の研究成果から弥生時代の生活や文化を学習する授業です。多くの体験実習も予定しており、古代米の栽培や田植え、稲刈り、発掘調査体験、土器作りや弥生食の復元などを通じて、弥生時代の理解を深めていきます。この授業を通じて、我々の祖先である弥生人の知恵や技術を学ぶと共に、地域や遺跡を大切にする心を育てていきます。地元の遺産を活かした青谷高校でしか体験、学習できない科目の1つです。



※ 写真撮影のためマスクを外しています。

楽器演奏（3年次選択科目）

この科目は、楽器演奏のさまざまな活動とおして、生涯にわたって音楽を愛好する心と音楽文化を尊ぶ心を育てます。感性も高まり、個性豊かな表現力や鑑賞力も伸びます。楽器は、ピアノ、パーカッション、ギター、和太鼓、箏、三味線、ハンドベルなどを演奏します。



※ 写真撮影のためマスクを外しています。



大学生とアピオス作り開始！

今年の3月から鳥取大学生を中心とする団体 TCD（Tottori Community Design）*と交流を始めました。この交流は、青谷高校生と大学生が地域の課題解決に向けて一緒に考え、協働して行く事業です。今年は、地域の方から耕作放棄地を提供していただいて、栄養価が高いとされているアピオス（いもの一種）の栽培を始め、地域の方々に広めていこうと考えています。収穫後には商品開発を考えています。

4月23日（金）リモート会議、25日（日）には、初めての交流を行いました。リモート会議は、大学生の自己紹介から始まり、25日（日）の交流の日程、最後にワークショップで「アイデア」についての考え方を生徒のグループワークを交え楽しく活動しました。交流では、青谷町内の畑で「アピオス（いもの一種）」の植えつけを行いました。本校からは14名が参加し、大学生6名と交流しました。生徒たちは、今回の交流をとおして農業の大変さと協働する楽しさを体験しました。また、地域の方々もこの活動を気にかけて様子を見に来られ、生徒たちは地域の方々に支えられていることを強く感じたようです。

この活動のリモート会議は2週間に1回、交流は一月に1回行う予定にしています。

（* TCD とは、持続可能な農業を目指し、耕作放棄地を活用することで農業の活性化、食糧危機や担い手不足などの問題解決を図ることを通して地域の人々と活動し、青谷町のコミュニティの創造に取り組む鳥取大学生を中心とする学生団体です。）



みんなが楽しんでいたよ。

